

先生各位

至急ご連絡

麻疹ウイルス抗体検査 受託一時中止のお知らせ

謹啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のご愛顧を賜り有難く厚く御礼申し上げます。
この度、下記項目につきまして一時中止させていただきます。
先生方には大変ご迷惑をお掛けいたしますが何卒宜しくご了承の程お願い申し上げます。
今後ともよろしくご厚誼の程お願い申し上げます。

謹白

記

● 受託一時中止日 2018年5月8日（火）受付分より

● 受託一時中止項目

案内書掲載頁	項目コード	項目名
66	3025	麻疹ウイルス(HI)
未掲載	4821	麻疹ウイルス(PA)

● 中止理由 検査委託先より一時中止のため(試薬製造販売元での原料調達遅延)

● 代替項目

案内書掲載頁	項目コード	項目名	検体量(mL)	容器	保存	所要日数	実施料判断料	検査方法	基準値
66	1221	麻疹IgG(EIA)	血清0.4	1	冷蔵	3~4	218点(免疫)	EIA法	2.0未満(-) 判定基準：下記参照
	1222	麻疹IgM(EIA)	血清0.4	1	冷蔵	3~4			0.80未満(-) 判定基準：下記参照

*髄液でのご依頼も可能です。(検体必要量：髄液0.7mL)

麻疹ウイルスEIAの判定基準(材料：血清)

判定	IgG(EIA価)	IgM(抗体指数)
-	2.0未満	0.80未満
±	2.0~3.9	0.80~1.20
+	4.0以上	1.21以上

麻疹は麻疹ウイルスの感染後、10~12日間の潜伏期ののち発熱や咳などの症状で発症する急性熱性発疹性ウイルス感染症です。感染経路は、空気感染、飛沫感染、接触感染で、その感染力は非常に強く、免疫を持っていない人が感染するとほぼ100%発症し、一度感染して発症すると一生免疫が持続します。

急性期の麻疹IgM抗体価の証明、または急性期と回復期のペア血清による麻疹IgG抗体価の陽転あるいは有意上昇(EIA価の2倍以上の上昇)を確認することで診断が確実となります。

麻疹に対する免疫の有無を確認するための抗体価測定方法は、麻疹IgG抗体価EIA法を用います。